

THE ABSURD AND FAMILIAL LOVE

不条理と

IN STEPHEN KING' S THE SHINING.

家族愛

スティーヴン・キング『シャイニング』における不条理と家族愛

The Absurd and Familial Love in Stephen King' s *THE SHINING*

文学研究/論文

デザインコース

小林 鈴夏

Kobayashi Suzuka

研究目的

スティーヴン・キングの『シャイニング』について、作品に見られる「不条理」と「家族愛」の関係性を探ることを目的とした。

方法と考察

第一章では、『シャイニング』に見られる「不条理」と、カミュが『シーシュポスの神話』で示す「不条理」が合致することを明らかにし、カミュの示す不条理の概念を足がかりとすることを示した。第二章では、主人公ジャックと「シャイニング」という能力を持つ息子ダニーについて、彼らが不条理や、不条理を象徴する「オーバールック・ホテル」から逃避しようという考えを持っていることを明らかにした。また、彼らの考えには家族に対する責任や家族の形が壊れることの恐怖が関わることも示した。第三章では、ホテルと彼らとの戦いを考察し、ジャックが不条理から逃避し、狂気に陥り、死を迎える一方で、ダニーはホテルの間から抜け出し、生きてホテルを脱出したことを示した。二人を分けたものは、「家族愛」がもたらす「生」への力と、「家族愛」ゆえに浮かび上がる「孤独」であることが明らかになった。また「シャイニング」とは、「生命のかがやき」と捉えることもできると論じた。

結論

『シャイニング』に描かれる「不条理」を「家族愛」という視点から分析することで、家族愛が人間の生死の選択に与える影響が明らかになった。「不条理」を生きる「人間」は、「生命のかがやき」を保ち続ける必要があり、そのためには「家族愛」が必要であること、そして、「生命のかがやき」が失われない限りにおいて、未来に「希望」を持つことができるということを、『シャイニング』は示しているのである。